

同意説明書

1) この治療の概要

自家多血小板血漿は、血液を固めてくれる物質の血小板を、取り分けて少量の血漿（ケツショウ）と一緒に潰瘍になった箇所に注射して、潰瘍部の皮膚を再生する治療です。

入院する事なく、採血したら当日に自家多血小板血漿の注射を受ける事ができます。治療は血液約 40mL 採取（潰瘍の大きさにより採血量を違います）し、院内の加工施設内で調整します。2 週間後に潰瘍の状態を見て、まだ全て皮膚が再生していない状況であれば、再度採血をして自家多血小板血漿の注射をします。

2) この治療の予想される効果と起こるかもしれない副作用

自家多血小板血漿を注射すると、潰瘍部分が小さくなる事や、潰瘍部分が完全に皮膚で再生する効果が期待できます。

副作用としては、自己の血液を無菌的に管理された場所で当日加工するため、ほぼありません。

3) 他の治療法の有無及びこの治療法との比較

難治性潰瘍の治療は、軟膏や創傷被覆材を用いた保存的治療や、外科的治療があります。軟膏や創傷被覆材の保存的治療は、外来で処置できますが日にちが長くかかります。外科的手術の場合は、健康状態が良くないと受けられない場合もあります。一方、多血小板血漿療法は副作用の恐れが少なく。これまでの保存的治療よりも、潰瘍が早く小さくなり皮膚が完全に再生される可能性があります。原則としては保存的治療で効果が出にくい方や、外科的手術が受けられない方、もしくは外科的に切断を回避したい方に実施される治療法となります。

4) この治療はいつでも取りやめることができること

治療を受けることを拒否すること、並びに治療の継続、中止については患者様の自由意思により決定されます。したがって、治療の途中を含め、いかなる場合においても患者様の意思により治療を取りやめることができます。

自家 PRP 療法

- 5) この治療を受けないこと、または同意を撤回することにより不利益な取扱いを受けないこと

治療を拒否された場合並びに治療途中で同意を撤回された場合においても如何なる不利益を受けることはありません。

- 6) 同意の撤回について

治療に対する同意の撤回を行う場合には受付より「同意撤回書」を受領して必要事項を記入の上、受付へ提出してください。

- 7) この治療を中止する場合があること

患者様の都合や医師の判断で治療を中止または変更する場合があります。この場合、以後の治療費用は発生いたしません。

- 8) 他の治療法との併用について

病気の進行具合や患者様の状態により、保存的治療や外科的治療が併用で治療が行われる場合があります。

- 9) 患者様の個人情報保護に関すること

患者様の個人情報は個人情報保護法に則って厳格に取扱われるため、院外へ個人情報が開示されることはありません。ただし、治療の効果向上を目的とした関係学会等への発表や報告、並びに当院の治療成績の公表等へ匿名化した上で患者様の治療結果を使用させていただくことがあります。

- 10) この治療の費用について

自家多血小板血漿療法は保険適応外のため、全額自費となり、以下の費用がかかります（税込）。

初診料	<u>5,000 円</u>
治療費用 PRP 注射 1 単位（採血 10ml/PRP1ml）	<u>50,000 円</u>

- 11) いつでも相談できること

治療の内容、スケジュール、費用等につきましては、いつでもご相談頂くことが可能です。尚、お電話でのご相談は患者様ご本人の確認が取れる場合のみ、

自家 PRP 療法

お受けいたしております。